
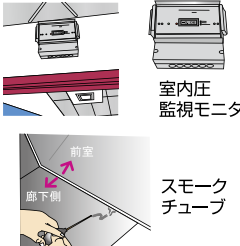

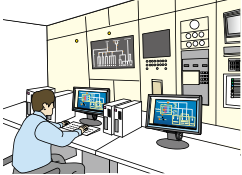
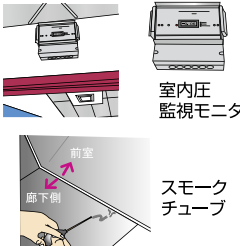
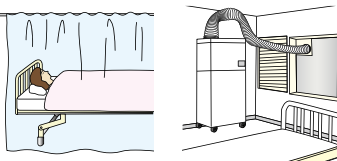
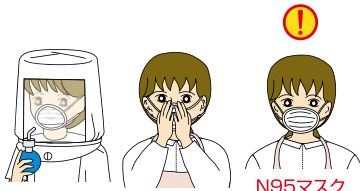
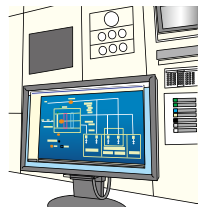
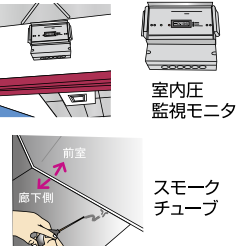

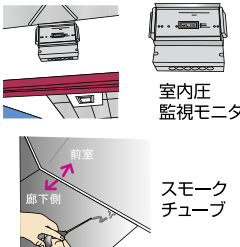
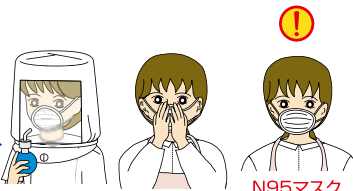
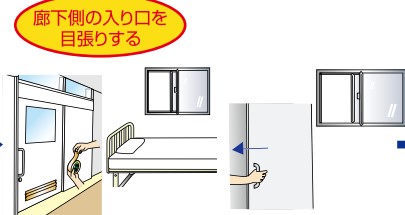
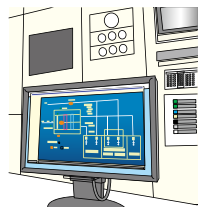
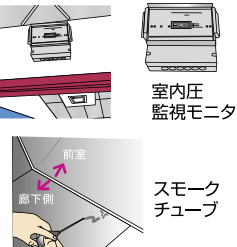


		準備		処置		復旧後	
電気	水	1	2	3			
○	○	 空調管理システムの運用状況を確認	 室内圧監視モニタ スモークチューブ 陰圧室の確認	 フィットテスト シールチェック N95マスク 空気感染予防策の実施			
電気	水	1	2	3	4	5	6
○	○	 空調管理システムの運用状況を確認	 室内圧監視モニタ スモークチューブ 現場の確認	 代替による換気 簡易陰圧装置を設置	 フィットテスト シールチェック N95マスク 空気感染予防策の実施	 通常管理	 室内圧監視モニタ スモークチューブ 現場の確認
電気	水	1	2	3	4	5	6
×	×	 空調管理システムの運用状況を確認	 室内圧監視モニタ スモークチューブ 陰圧室の確認	 フィットテスト シールチェック N95マスク 空気感染予防策の実施	 廊下側の入り口を目張りする 室内の窓を開けて換気	 通常管理	 室内圧監視モニタ スモークチューブ 現場の確認

ベストプラクティス：問題解決のための優れた実践例

⚠ 赤字：EBMに基づき強く推奨されているところ

災害時の空調管理

1	空調管理システムの確認	空調管理が不完全な場合などは空気汚染の危険性がある。汚染された空気の希釈および除去、医療環境内の気流方向の制御、室内気流パターンの制御ができない。	空調管理システムは 1)汚染された空気の希釈および除去 2)医療環境内の気流方向の制御 3)室内気流パターンの制御に利用される。 室内の空気洗浄度を保つ(換気量・気流・気圧のバランス)空調システムは微生物汚染を最小限にし、感染制御に役立つ。		災害時にはライフラインの状況により空調管理が行えない可能性がある。 必要不可欠な環境面での感染制御が停電時に機能停止することのないよう、非常用電源を準備しておく。自施設の空調管理システムを確認し把握しておく。
2	陰圧室の確認	室内の汚染された空気が他の区域に流出。飛沫核の拡散。	空気感染隔離室は 1)伝染性結核が強く疑われる患者の隔離 2)環境因子の制御により飛沫核濃度を低減した医療環境の提供 3)気流方向を利用した室外隣接区域への飛沫核拡散の防止の目的で使用される。 空気感染隔離室で陰圧が達成されていることを保証するのは、各医療環境の感染制御プログラムの機能である。使用中は目視確認により、陰圧を毎日確認すべきである。		陰圧室が正しく機能していない場合、飛沫核が拡散するリスクが高くなる。 視覚的手段により陰圧を確認する。
3	N95マスク装着	医療従事者の感染性エアロゾルへの曝露。	呼吸器防護具は装着者(すなわち、医療従事者)の空気浮遊粒子への曝露を削減する。使用前ごとに呼吸器防護具の使用者によるシールチェック(密着度チェック)を実施するのは、面体内への汚染物質の漏れを最小限とするのに重要である。フィットテストはどの呼吸防護具		
	復旧後は通常管理に戻す				